

# 新潟県糸魚川市 黒姫山 登山ルートガイド

作成：糸魚川市役所 青海事務所 2008年5月  
 監修：さわがに山岳会 会長 小野 健



山頂から糸魚川市街地を望む・山頂に咲くミヤマザクラ

清水倉登山口

白鳥山・犬ヶ岳を望む

## ルートの概要

黒姫山：標高 1221.5m  
 ・所在地：新潟県糸魚川市大字田海字不動滝  
 歩行時間：登り／約4時間30分・下り／約3時間  
 入山ルートの状況  
 ・清水倉登山口から山頂付近までの登山道は1本。登山口は標高 86m。一本杉峠までは緩い勾配。一本杉峠から登り勾配となる。金木平までの歩道は石灰岩のガラ場が続く。金木平から沢との出合までの区間は、この山一番の急な登りで、ロープ設置箇所が続く。飲料水は必携。水場は金木平にあるが7月から8月は枯れる。クマやイノシシ・サル等の野生動物が出没するため、鈴等音の出るもの必携。  
**鉾山道への進入は禁止**  
 ・電気化学工業(株)青海工場の青海鉾山道と明星セメント(株)糸魚川工場の田海鉾山道は、石灰石採掘のため進入禁止。  
**お願い**  
 ・この黒姫山山頂への入山ルートは、橋立区において地区民が山林等を管理するために整備したものである。  
 ・このため、入山道の整備及び利用者の事故等については橋立区・土地所有者・土地管理者・糸魚川市は一切の責任を負いません。入山道の利用は、入山者個人の責任において利用願います。



## 登山ルートガイド ( 等の数字は地図上に示した箇所です。)

「県道青海橋立停車場線」から「市道橋立学校線」へ分岐するY字交差点には、黒姫山登山「清水倉ルート」への案内看板が設置してある。この看板を目印に登山口へ進む。

「市道橋立学校線」は、大型車両が通行するため、路上駐停車は禁止。車の駐車はの河川堤防の路肩に寄せて駐車する。登山口に看板が設置されている。



登山口

登山口からは杉の林間を歩く。昔は水田だった。標高 280m あたりから杉林がサワグルミの林に変わる。

- ・この辺りが道に迷いやすい。
- ・緩傾斜地は日あたりがよいため、春季にはセリ科のシャクが茂り、歩道をおおうため、歩道が見えにくくなる。
- ・足元の道標やビニールテープやペイントでマーキングした樹木を目安に歩く。

### サワグルミの林 野草が歩道を覆う



- 一本杉峠 (標高 410m)
- ・大きな杉の木 (写真右：中央) がある。

### 一本杉峠



標高 480m。サワグルミからオニグルミの林に変わる。

- ・背後西方に、梅海新道の白鳥山、犬ヶ岳が望める。
- 標高 570m 付近に根曲がりカエデ大樹 (写真右) がある。この地点から北に方向を変え、斜面の登りとなる。
- ・標高 580m 付近から沢を直登するが、途中から歩道は左へ変わる。道標を見落とさないよう注意。

### 根曲がりカエデ大樹



標高 620m 付近から、足元は石灰岩が散乱する歩道になる。滑落、落石、足の捻挫に注意。

- 標高 670m。夫婦縄文杉の古木あり。
- ・斜面の傾斜がきつい。
- 斜面の崩落箇所あり (写真下)、木の枝につかまるなど慎重に歩く。



夫婦縄文杉



歩道の崩落

- 標高 780m。炭焼き窯跡? あり。
- ・白鳥山を背後に望み、日本海からの風が心地よい。歩道が石灰岩から土に変わり、滑りやすくなる。
- 標高 800m。金木平。五葉松の大樹がある。唯一の水場。沢水は5月中旬まで残雪残るが夏には枯れる。
- ・ここから急勾配の登りとなり1000m 付近までロープ設置箇所が続く。(写真：下左) 雪椿が群生。



金木平の五葉松



沢 (雪渓) 雪渓との出会い

- 標高 1010m。山頂への大きな沢と出会う。根曲がりした径約 1m のシナの老木 (写真下中) が目印。この地点を見落とすと登頂の方向を誤るおそれあり。5月中旬頃も沢の雪渓残る。
- ・沢の前方に目指す黒姫山頂に連なる西尾根のピークが見える。
- ・樹木に記したマーキングを目安に、ピークを目指して沢 (雪渓：写真下右) を登る。

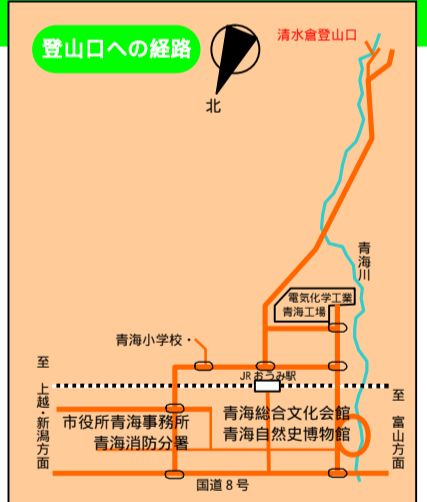
### シナ老木と沢の出会い



### 正面西尾根のピークを目指す



### ロープの設置



## 黒姫小屋跡との出会い

標高 1150m。前方の杉林が地元「さわがに山岳会」が建てた黒姫小屋の跡地。



イタヤカエデの老木

・イタヤカエデの老木 (写真下) がある。この地点で沢 (雪渓) は終わる。



標高 1220m。山頂が目の前に開ける (写真左)。右手東方に姫川と市街地、左手西方に日本海は親不知海岸を一望できる。

